



校長室だより

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和6年6月28日

第13号

いよいよ県内も梅雨入りし、蒸し暑い毎日です。そのような中、24日(月)には6月の玉椿集会を行いました。今回も、代表の子供たちは堂々とふるまっています立派でした。長い内容でもしっかり覚えて大きな声で発表することで、集会の雰囲気が一気に高まります。家での練習の跡もうかがえ、各家庭のご協力があったのことに感謝しています。一方、その後の授賞集会では、連体やわんぱく相撲、スポ少等の授賞披露がありました。これからもさまざまなチャンスをとらえ、進んでチャレンジすることで力を伸ばして欲しいです。



読者の方から感想をいただきました

「孫達の短歌を作る嬉しさよ 感じることをいつもどこでも」0000(名前)
富山市に住む母に子たちの短歌をLINEで送りました。とても喜んでおりました。ありがとうございます。

この保護者の方は2人のお子さんの短歌を実家のお母様に知らせたのですね。その「おばあちゃん」も日頃から短歌に親しんでおられる方で、「孫達の…」と自作の短歌を返してくださったとのこと。短歌を通じて家族の会話が深まったようで、私も嬉しく思いました。教えてくださりありがとうございます!

校長室からの学習のススメ

さて、私は学校全体をマネジメントする立場上、日頃の授業は担当しません。しかし時々には全校に向けて学習の提案をさせてもらっています。その際は、「学年で決められた内容からは少し発展した内容も取り扱い、子供の興味・関心を高めたい」「時には学年の壁を越え、競い合ったり健闘をたたえ合ったりする機会としたい」「自分の得意なことや好きなことに気付き、より力を伸ばす子供を育てたい」という自分なりの願いをもっています。「校長だからこそできること」に、ちょっぴりこだわっております…。

★短歌の取組 その後

以前「校長室だより第8号」で紹介していた短歌の授業は、これまでに全学年で1回以上行うことができました。短歌を作ったあとは、互いによい作品を選び合い、入賞作をミニ色紙で校長室前に掲示したり全作品をプリントにして配ったりしました。また、1・2年生は特別に全員の作品を校長室前に掲示しました(「自分の歌が一番!」で、互いの作品を読んで選ぶのが難しい年頃ですから…)。作品掲示は授業が一段落した学年から順次行い、今は最後の1年生の番になっています。

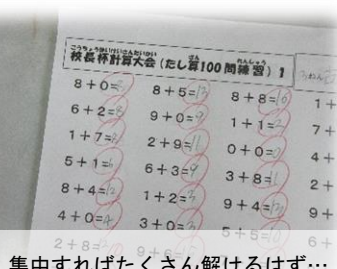
一部の作品は、現在村椿公民館内にも掲示していただいています。先日校外学習で公民館を訪れた2年生も興味深くのぞきこんでいたとのこと。保護者や地域の皆さんにも是非一度ご覧いただければと思います。

先日はランチルームで、短歌の県ジュニア大会の募集がきていることを告知しました。校内×切を1学期末とし、興味のある子はどしどし応募してほしいと知らせました。たくさんの子が挑戦してくれると嬉しいです。

★「校長杯計算大会」を行います!

一方、7月中旬には「校長杯計算大会」を行うことにしました。たし算・ひき算の簡単な計算問題を2分間でより速く正確に解く大会で、全校が同じ問題(ただし1年生だけは繰り上がり、繰り下がりなし)に取り組みます。

これも先日のランチルームで告知を行ったところ、早速、校長室前の練習プリントを子供たちが抜き取っていきます。学年の枠を越えて競い合う楽しみもありますが、まずは練習すればするほど点数が上がっていくことを実感し、自己最高記録を目指して楽しみながら練習して欲しいと思います。100点満点の減点方式ではなく、解けば解くほど超高得点をたたき出せるのも校長杯の特徴です。



集中すればたくさん解けるはず…



▲公民館にて(2年生)



▼校長室前廊下の様子

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名()

自転車大会に向けて

毎年7月上旬に行われる交通安全子供自転車富山県大会に、今年度は村椿小学校が黒部市の代表チームとして出場することになりました。5年生4名が代表選手として放課後の実技練習に取り組んでいます。道路の状況に応じた安全確認の動作、板乗り（細い道）や縄ばしご（デコボコ道）の走行のコツ等を、黒部市交通安全協会の大上戸さんに教わりながら練習を重ね、少しずつ上達してきました。また、交通標識や交通ルールの筆記テストの対策にも取り組んでいます。

今回の大役を引き受けてくれた4人とそれぞれの家庭のご理解・ご協力に感謝しています。本番は7月7日。あともうひと頑張りです。

シリーズ「教室におじゃまします」 6/25(火)4年理科の巻

4年生の理科は松嶋教頭先生が担当しています。この日の授業の前半は「電流のはたらき」のまとめでした。前時までの内容を振り返り、教科書の問いに答えていきます。「電流」という言葉そのものや、また乾電池の数やつなぎ方を変えると電流の大きさや向きが変わり、豆電球の明るさやモーターの回り方が変わることを復習しました。乾電池の+（プラス）極と-（マイナス）極に注目したり、「直列つなぎだと強く流れる」と即答したりする様子から、学習事項がよく理解できていることが分かりました。

また、教頭先生が「並列つなぎは長持ちするつなぎ方ですね」と補足したところに、実生活と関連させる意図も感じられ、なるほどと思いました。

後半は1週間前に植えたヘチマの観察でした。まずは教室で観察のポイントを考え、茎の長さを測るための定規と印を付けるテープを持参することになりました。

畑に着くと早速近くの仲間と協力しながら丈を測ったり、日付を書いたテープを近くのネットに貼り付けたりしました。これで、次の観察の際には直近の成長具合が分かりやすくなりますね。

さらにその後、3年生の時にハウセンカを育てていた場所を通り、その様子を観察すると…、いつの間にか新しい小さな芽が育っています。「去年のこぼれ種ですね」と先生が教えました。興味をもった子供が次々と質問を始めます。とても楽しく、のびのびとした雰囲気でした。



<おまけのひとりごと>先日24日(月)、25日(火)はじんじん祭りでしたね。今週初めは休み時間やランチルームでも「じんまつ」の話題が中心でした。私は24日の夕方6時~7時頃、緑の腕章をつけて現地を巡回しました。そこで遭遇したつばきッズたちは学校とは違う思いの私で、家族で、あるいは大人に見守られながらも友達と仲良く、開放的なお祭りの雰囲気を楽しんでいるようでした。自分から声をかけて挨拶してくれる子や親御さんもたくさんいて嬉しかったです。2日とも雨が降らずそれも幸いです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！
校長室だよりへの感想 切り取り できればお名前 or 児童名 ()